財団法人 大阪市文化財協会

30年のあゆみ

2010年3月

財団法人 大阪市文化財協会

ごあいさつ

財団法人大阪市文化財協会は、1979年７月に設立され、本年度で30周年を迎えます。

難波宮跡や大坂城跡など豊富な歴史遺産に恵まれつつ、日々開発が止むことがない大都市大阪において、文化財保護行政の一翼を担い、その調査・研究成果の公開に努めてきたことは、私たちの誇りとするところであります。

2001年からは、難波宮跡のサイト・ミュージアム機能を備えた大阪歴史博物館という大きな舞台が活動の場に加わりました。豊かな市民文化を築くために文化財の活用が求められる現代社会において、可能な限りの機会を捉え、持てる成果を伝え広めることは、私たちに与えられた責務であり、課題です。

30周年の節目にあたり、私たちは新たな気持ちで自らの組織を見つめ直し、さらに多くの組織・人と繋がり、歴史遺産とその意義を未来へ伝えていきます。今後とも、当協会にご協力、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2010（平成22）年３月

財団法人　大阪市文化財協会
理事長　脇田　修

目　次

Ⅰ．30年のあゆみ …… 4
Ⅱ．組織 …… 5
1．組織の変遷 …… 5
2．役員及び評議員 …… 6
3．現職員及び旧職員 …… 6
Ⅲ．埋蔵文化財の調査事業 …… 8
1．調査事業 …… 8
2．保存処理事業 …… 10
3．発掘調査報告書の刊行 …… 11
4．資料の保管 …… 11
5．現地説明会などの開催 …… 11
Ⅳ．博物館受託および指定管理事業 …… 13
Ⅴ．教育普及事業 …… 14
1．文化財情報『葦火』の刊行 …… 14
2．普及図書の編集 …… 14
3．資料の貸出・提供 …… 14
4．収蔵図書と利用者数 …… 14
5．展示 …… 15
6．講演会・講座の開催と講師派遣 …… 15
7．学校との連携 …… 15
8．各種のイベントとの連携 …… 16
Ⅵ．国際交流事業 …… 18
1．韓国・財団法人嶺南文化財研究院との国際交流事業 …… 18
2．世界考古学会議中間会議大阪大会の開催 …… 18
Ⅶ．研究活動 …… 19
1．大学・その他機関等からの講師・委員等の応嘱 …… 19
2．競争的研究資金の獲得 …… 19
Ⅷ．文化財の調査・研究・保存 …… 20

わたしたち（財）大阪市文化財協会 文化財研究部は、

2010年4月1日から

（財）大阪市博物館協会

大阪文化財研究所

へ名前が変わります。

わたしたちは実行します。

1．30 年をこえる遺跡の考古学的調査を活かした確かな知識と技術にもとづき、文化財の幅広く総合的な調査研究を行い、その成果を広く発信していきます。

（①埋蔵文化財、②史跡、名勝及び天然記念物、③有形、無形及び民俗文化財、④伝統的建造物群、文化的景観の調査、研究、保存と活用、また⑤文化財の保存及び保存技術、⑥文化財の情報及び資料に関する調査、研究を行います）

2．国民共有の財産であり地域の歴史的遺産である文化財や遺跡、そこから生まれたさまざまな資料を収集・保管し、未来へ継承することに貢献します。

（文化財及び考古学に関する資料を収集、保管し、閲覧に供します）

3．文化財とその調査研究成果を活かした多彩な教育普及事業を展開し、地域や学校・市民サークルなど多様なパートナーと協働します。

（①文化財及び考古学に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等の開催をはじめ、②市民の生涯学習へ機会を提供し、③文化財及び考古学に関する相談を受け情報を提供します）

4．蓄積された資料と成果、人材と技術、大阪歴史博物館などでの実績を活かし、博物館・美術館の機能の向上をはかります。

（出土品等の資料や文化財にかかるさまざまな研究成果や技術を用い、博物館・美術館の事業を支援します）

5．国内・海外の調査研究機関との交流と連携を深め、その成果を文化財事業や博物館・美術館に活かします。

6．幅広い経営基盤を開拓し、経営の安定に努めます。

組織の変遷

財団法人　大阪市文化財協会

1979.7 ～
- 事務局
  - 総務課
  - 調査課
  - 企画課

2001.5 ～
- 事務局
  - 総務部
  - 調査研究部
  - 学芸部（大阪歴史博物館）

（1）設立当初 1979.7 ～	（2）歴博管理受託 2001.5 ～
名　称	
この法人は、財団法人大阪市文化財協会という。	この法人は、財団法人大阪市文化財協会という。
目　的	
この法人は、大阪市内における文化財の調査、整理及び保存を行い、文化財の活用の積極的な推進を図り、もって市民文化の発展に寄与することを目的とする。	この法人は、文化財の調査、整理、研究を行い、大阪市内におけるその積極的な保存と活用を図り、もって市民文化の発展に寄与することを目的とする。
事　業	
この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 ⑴ 埋蔵文化財の調査、整理及び保存 ⑵ 史跡、名勝及び天然記念物の調査及び保存 ⑶ 有形、無形及び民俗文化財の調査及び保存 ⑷ 文化財に関する出版物の刊行 ⑸ その他、前条の自的を達成するために必要な事業	この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 ⑴ 埋蔵文化財の調査、整理、研究及び保存と活用 ⑵ 史跡、名勝及び天然記念物の調査、整理、研究及び保存と活用 ⑶ 有形、無形及び民俗文化財の調査、整理、研究及び保存と活用 ⑷ 文化財に関する資料、情報の収集と管理 ⑸ 文化財の普及啓発に関する事業 ⑹ 大阪歴史博物館の維持、管理 ⑺ その他、前条の目的を達成するために必要な事業

財団法人 大阪市文化財協会の設立趣旨　（抜粋）　1979 年 6 月

大阪市では、1960 年に難波宮址顕彰会を組織し、難波宮跡の発掘および史跡公園の整備を行ってきました。1975 年には高速道路建設のために遺跡調査が必要となり、高速大阪東大阪線難波宮跡調査会を組織し、1974 年 6 月には地下鉄谷町線延長工事に伴う市内南部方面の遺跡調査会を組織して、それぞれ市内埋蔵文化財の発掘調査、整備を担当し、着々とその成果をあげております。

しかし、何分にも埋蔵文化財の分布状況が広範囲多様にわたっており、実態調査や発掘調査により出土した遺物の整理も充分とはいえない状態であります。大阪市としても、大阪の歴史を解明する学術研究を目途に埋蔵文化財の保護とその調査体制を強化充実しなければならない事態に直面しています。

そこで、大阪市において、埋蔵文化財の発掘調査を主体としてきた従来の上記 3 団体を統合し、発掘調査、遺物の整理等の迅速化や事務の簡素化をはかるとともに、新たに広範囲な文化財保護思想の普及と啓発をあわせ行うことが緊要であり、組織財政基盤を確立するため、財団法人大阪市文化財協会を設立します。

財団法人　大阪市博物館協会

2006.4 ～
- 事務局
  - 総務経営室
  - 文化財研究部
  - 大阪歴史博物館
  - 大阪市立自然史博物館

2010.4 ～
- 事務局
  - 総務部
  - 大阪文化財研究所
  - 大阪歴史博物館
  - 大阪市立自然史博物館
  - 大阪市立美術館
  - 大阪市立東洋陶磁美術館
  - 大阪城天守閣

（3）歴博・自然史博の指定管理 2006.4 ～	（4）美術振興協会統合・博物館群指定管理 2010.4 ～
	名　称
この法人は、財団法人大阪市文化財協会という。	この法人は、財団法人大阪市博物館協会という。
	目　的
この法人は、文化財の調査、整理、研究を行い、大阪市内におけるその積極的な保存と活用を図り、もって市民文化の発展に寄与することを目的とする。	この法人は、文化財の調査研究と保存、大阪市の博物館･美術館の運営、及びそれらの相互連携、成果の公開･活用を通じて、広く学術・文化・教育の向上と発展に寄与することを目的とする。
	事　業
この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 (1) 埋蔵文化財の調査、整理、研究及び保存と活用 (2) 史跡、名勝及び天然記念物の調査、整理、研究及び保存と活用 (3) 有形、無形及び民俗文化財の調査、整理、研究及び保存と活用 (4) 伝統的建造物群、文化的景観の調査、整理、研究及び保存と活用 (5) 文化財に関する資料、情報の収集と管理 (6) 文化財の普及啓発に関する事業 (7) 前各号の事業を行う博物館等の管理、運営 (8) その他、前条の目的を達成するために必要な事業	この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 (1) 大阪文化財研究所を設け、文化財とそれに関する資料の調査研究、保存と活用を行うこと (2) 歴史及び考古に関する資料の収集・保存・活用、調査研究、展示、普及教育・学習支援事業 (3) 美術及び東洋陶磁に関する資料の収集・保存・活用、調査研究、展示、普及教育・学習支援事業 (4) 自然科学に関する資料の収集･保存･活用、調査研究、展示、普及教育・学習支援事業 (5) 前各号の事業を行う博物館、美術館等の管理運営に関すること (6) 前各号の事業の相互連携、市民参画、国際交流に関すること (7) その他、前条の目的を達成するために必要な事業

※上記「名称」･「目的」･「事業」は当該時期の寄付行為から抜粋したものです。

※「財団法人 大阪市博物館協会」の寄付行為は 2010 年 4 月 1 日から施行される予定です。

Ⅰ．30年のあゆみ

1979年５月７日　財団法人大阪市文化財協会設立発起人会を開催
1979年５月28日　大阪府教育委員会の認可を受ける
1979年６月１日　財団法人大阪市文化財協会設立登記
1979年６月28日　第１回理事会開催
1979年７月１日　事業開始、事務局（中央区法円坂１－６－48）・長原分室（平野区長吉長原東３－１－62）を設置
1980年４月　森小路遺跡の発掘調査開始
1980年12月　難波宮東方官衙の発掘調査
1980年10月　森小路分室を設置（～2000年）
1981年７月　土地区画整理事業に伴う長原・瓜破遺跡の発掘調査開始
1981年11月　市営住宅建替に伴う山之内遺跡の発掘調査開始
1982年11月　「大阪の歴史を掘る講演会」開催、以後年１回
1983年４月　第１回「中国歴史遺産の旅（旧名称：中国史跡めぐりの旅）」開催、以後年１回開催
1983年10月　加美遺跡で方形周溝墓群の調査を開始（～85年３月）
1984年２月　平野区画整理記念会館「平野住民大学講座」年７回開催（～継続中）
1984年７月21日・7月22日　当協会設立５周年記念シンポジウム「難波京と古代の大阪」開催
1984年８月10日～9月16日　当協会設立５周年記念展示「発掘された大阪」開催
1985年11月　第１回「韓国歴史遺産の旅」、以後２回開催
1985年12月　本部事務局を移転（中央区法円坂１－１－35大阪市立中央青年センター６Ｆ）、旧本部を難波宮分室に
1986年３月　大阪市文化財情報『葦火』創刊、年６回刊行
1989年７月　復原古代船「なみはや」、釜山へ航海実験
1989年７月８日・７月９日　協会設立10周年記念国際シンポジウム「古代船の時代－５世紀の大阪と東アジア－」開催
1989年８月25日～8月30日　協会設立10周年記念展示会「よみがえる古代船と５世紀の大阪」開催
1990年４月　長原分室を旧大和川小学校（平野区長吉長原東３－２－５）へ移転、保存科学室が稼働
1990年５月　住友長堀銅吹所跡の発掘調査開始
1990年６月　「長原文化財講演会」始まる、年３回開催
1990年６月　大阪市埋蔵文化財収蔵展示室を公開
1993年６月　難波宮跡資料展示室を公開
1993年８月　大阪市立博物館内常設展示「大阪市の考古学」を開設、年３回展示替え
1995年10月　長吉東部地区土地区画整理事業に伴う発掘調査開始
1995年11月　難波宮フェスティバルに参加（～2001年）
1996年２月　長吉分室（平野区長吉出戸７－12）を設置
1996年４月　難波宮・長原・長吉分室をそれぞれ難波宮・長原・六反調査事務所（～2003年５月）に改称
1996年10月　細工谷遺跡の発掘調査（～97年９月）
1997年４月　報告書作成室（中央区南船場１－５－22 T.U南船場ビル４Ｆ）を設置（～2004年３月）
1998年４月　『大阪市文化財協会 研究紀要』創刊、以後年１冊刊行
1999年８月　難波宮調査事務所を隣地（中央区法円坂１－６－41）に移転
1999年10月24日　協会設立20周年記念国際講演会『東アジア考古学最新事情 秦始皇帝から韓、倭まで』
1999年12月　韓国（財）嶺南文化財研究院と「交流に関する協定（姉妹関係）」を締結
2001年３月　長吉瓜破地区土地区画整理事業に伴う発掘調査を完了、報告書は2003年３月に完了
2001年５月　大阪歴史博物館管理運営業務を受託
2001年10月　文部科学省科学研究費補助金交付申請の指定機関として認定
2001年11月　大阪歴史博物館開館
2002年５月　奨学金返還特別免除職にかかる研究機関として文部科学大臣により指定
2002年７月　大阪歴史博物館特集展示「新発見！なにわの考古学」（市内遺跡調査の速報展）開催、以後年１回開催
2002年８月　金曜歴史講座を大阪歴史博物館にて開講、以後年10数本を開催
2002年９月　『大阪歴史博物館 研究紀要』創刊、『大阪市文化財協会 研究紀要』を同誌へ統合し、以後年１冊刊行
2003年４月　財団法人大阪府文化財センターへ学芸員を派遣（～2008年３月）
2003年10月　住友銅吹所跡の発掘調査成果を中心に大阪歴史博物館特別展「よみがえる銅－南蛮吹きと住友銅吹所－」展を開催
2004年10月　大阪歴史博物館特別展「難波宮跡発掘50周年記念 古代都市誕生－飛鳥時代の仏教と国づくり－」展を開催
2006年１月12日～１月15日　世界考古学会議中間会議大阪大会の開催にあたり実行委員会に参画
2006年４月　大阪歴史博物館・大阪市立自然史博物館の指定管理者として管理運営業務を代行（～継続中）
2006年４月　なにわの海の時空館（大阪市立海洋博物館）へ学芸員を派遣（～2009年11月）
2006年10月　難波宮跡で発見された万葉仮名文木簡を大阪歴史博物館で公開
2009年４月　（財）かながわ考古学財団へ学芸員を派遣（～2010年３月）
2009年12月19日　（財）嶺南文化財研究院 交流10周年記念 シンポジウム「古代嶺南と大阪の出会い－道路・土器・鉄器－」を韓国大邱で開催
2010年２月21日　当協会設立30周年記念講演会・展示「都市大阪の成り立ちを語る－遺跡・発掘・文化財－」を開催
2010年４月１日　寄付行為を変更し、名称を「大阪市博物館協会」へ改称する

Ⅱ．組　織

1．組織の変遷

（1）1979年７月：12名

- 事務局
  - 総務課（２名）
  - 調査課（７名）
    - 長原分室
  - 企画課（２名）

（2）1989年３月：39名

- 事務局
  - 総務課（６名）
  - 調査課(30名)
    - 難波宮分室
    - 長原分室
  - 企画課（２名）

（3）1994年３月：43名

- 事務局
  - 総務課（８名）
  - 調査課(27名)
    - 難波宮分室
    - 長原分室
  - 企画調整課（６名）

（4）1999年７月：48名

- 事務局
  - 総務部
    - 総務課(10名)
  - 調査部
    - 調査課(22名)
      - 難波宮調査事務所
      - 長原調査事務所
      - 六反調査事務所
    - 企画課（９名）
    - 報告書作成室（６名）

（5）2002年７月１日：71名（うち協会固有職員40名）

- 事務局
  - 総務部
    - 総務課（８名）（うち市派遣職員３名）
  - 調査研究部
    - 調査課(20名)
      - 難波宮調査事務所
      - 長原調査事務所
      - 六反調査事務所
    - 研究資料課（８名）（うち報告書作成室３名）
  - 大阪歴史博物館
    - 管理課(11名)
    - 学芸課(13名)（うち市派遣職員９名）
    - 企画広報課（８名）（うち市派遣職員６名）

（6）2006年６月１日：83名（うち協会固有職員39名）

- 事務局
  - 総務経営室
    - 総務経営担当（８名）（うち市派遣職員３名）
  - 文化財研究部
    - 調査担当(11名)
      - 難波宮調査事務所
      - 長原調査事務所
    - 技術管理・保存科学担当（９名）
    - 事業企画担当（７名）
  - 大阪歴史博物館
    - 庶務係（２名）
    - 学芸課(13名)（うち市派遣職員10名）
    - 企画広報課（８名）（うち市派遣職員５名）
  - 大阪市立自然史博物館
    - 管理係（５名）（うち市派遣職員３名）
    - 学芸課(15名)（すべて市派遣職員）

2. 役員及び評議員

現役員・評議員　2010 年 3 月現在

役　員

理 事 長	脇田　修	（大阪大学名誉教授）
専務理事	吉田 直紀	（大阪市ゆとりとみどり振興局理事）
理　　事	小坂 達也	（ＮＨＫ大阪放送局副局長）
理　　事	中西 正人	（大阪府教育委員会教育長）
理　　事	小林 一生	（日本生命保険相互会社秘書部長兼企画総務部長兼ＣＳＲ推進室長）
理　　事	近藤 明男	（財団法人大阪市教育振興公社理事長）
理　　事	栄原 永遠男	（大阪市立大学大学院文学研究科教授）
理　　事	武田 佐知子	（大阪大学大学院文学研究科教授）
理　　事	田邉 征夫	（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所長）
理　　事	坪井 清足	（財団法人元興寺文化財研究所副理事長）
理　　事	出川 哲朗	（大阪市立東洋陶磁美術館長）
理　　事	中瀬　勲	（兵庫県立人と自然の博物館副館長）
理　　事	真弓 常忠	（住吉大社宮司）
理　　事	山西 良平	（大阪市立自然史博物館長）
監　　事	伊藤 由之助	（税理士）
監　　事	寺井 種伯	（大阪天満宮宮司）

評　議　員

岡田 俊樹	（大阪市教育委員会事務局総務部長）
熊井 久雄	（大阪市立大学大学院名誉教授）
里中 満智子	（大阪芸術大学キャラクター造形学科教授）
鈴木 嘉吉	（学術専門家・建築史）
高橋 憲明	（大阪市立科学館長）
谷　直樹	（大阪市立すまいのミュージアム館長）
谷田 一三	（大阪府立大学大学院理学系研究科教授）
中尾 芳治	（学術専門家・考古学）
長山 雅一	（流通科学大学情報学部教授）
福永 伸哉	（大阪大学大学院文学研究科教授）
水野 正好	（財団法人大阪府文化財センター理事長）
三宅　卓	（大阪市教育委員会事務局生涯学習部長）
安田　弘	（大阪市ゆとりとみどり振興局博物館群運営企画担当部長）

3. 現職員及び旧職員（旧職員は退職時の姓名／大阪歴史博物館・大阪市立自然史博物館勤務の市派遣職員は除く）

現職員一覧（2010年３月現在）

【職　名】	【氏　名】
理事長	脇田　修
事務局長兼大阪歴史博物館副館長	吉田 直紀
文化財研究部次長兼調査担当課長	南　秀雄
事業企画担当課長	京嶋　覚
事業企画担当課長代理兼普及担当係長	清水　和明
事業担当係長	佐藤　隆
事業企画担当副参事	徳井 喜代治
学芸員	杉本 厚典
嘱託調査員	川村 紀子

技術管理・保存科学担当課長兼長原調査事務所長	田中 清美
保存科学担当係長	伊藤 幸司
嘱託調査員	藤田 浩明
研究副主幹	趙 哲済
難波宮調査事務所長	高橋 工
主任学芸員	黒田 慶一
主任学芸員	松本 百合子
学芸員	平井 和
学芸員	大庭 重信
学芸員	池田 研
学芸員	市川 創
嘱託調査員	宮本 佐知子
長原調査事務所長代理	絹川 一徳
主任学芸員	松本 啓子
主査	西村 公助
学芸員	平田 洋司
学芸員	小倉 徹也

大阪歴史博物館企画広報課長代理兼企画広報係長	積山 洋
学芸員	宮本 康治
学芸員	李 陽浩
学芸員	村元 健一
学芸員	寺井 誠
大阪歴史博物館学芸第２係長	豆谷 浩之
総務経営室総務経営担当課長	川北 直生
総務経営室主幹兼総務経営担当課長代理	川上 惠三
総務担当係長	竹本 史郎
総務経営室総務経営担当課長代理兼経営担当係長	岡村 勝行
嘱託事務員	吉岡 智子
嘱託事務員	山川 方子
嘱託事務員	鹿野 千夏子
嘱託事務員	大西 さゆみ

旧職員一覧（2010年３月現在／大阪歴史博物館・大阪市立自然史博物館勤務の市派遣職員は除く）

【氏　名】	【在職期間】
阿部 三千年	1979.6.28～1986.3.31
八木 久栄	1979.7.1～1996.3.31
	1996.6.1～1999.3.31
木原 克司	1979.7.1～1991.8.31
中尾 芳治	1979.7.1～1990.2.20
小堀 栄二	1979.7.1～1982.4.13
吉田 泰子	1979.7.1～1982.1.31
小山 佳余子	1980.1.1～1993.3.31
植木 久	1980.4.1～1993.3.31
萩野 兼司	1982.4.14～1984.4.13
岡本 忠彦	1982.4.20～1986.4.15
	1996.4.1～1999.3.31
伊藤 純	1982.7.1～1997.6.30
真砂 裕子	1982.7.1～1984.10.31
栂井 千壽雄	1982.7.1～1984.4.30
中西 敏光	1984.4.14～1985.9.30
日浦 典子	1984.11.1～1991.8.31
田中 秀和	1985.4.1～1986.3.31
鶴田 真佐子	1985.4.1～1986.3.31
山崎 栄	1985.4.1～1987.3.31
富山 直人	1985.4.1～1987.7.31
中川 信作	1985.4.1～1989.3.31
	1989.4.1～1991.3.31故人
井上 照子	1985.4.1～1995.3.31
岡村 政義	1985.10.7～1992.3.31
喜多 博史	1986.4.1～1989.3.31
吉見 典恭	1986.4.16～1993.4.13
西畑 佳恵	1986.4.1～1991.3.31
	1991.4.1～1991.6.30
内田 好昭	1987.4.1～1988.3.31
加茂 恵	1987.4.1～1989.3.31
金村 浩一	1988.4.1～1991.10.31
上垣 幸徳	1988.4.1～1988.9.30
佐賀 和美	1988.4.1～1989.8.31
高東 宏	1989.4.1～1992.3.31
上野 裕子	1989.4.1～1991.3.31
鈴木 京子	1989.4.1～1990.3.31
前田 勝己	1989.4.1～1990.3.31
辰巳 毅	1989.7.1～1997.3.31
清水ひかる	1990.4.1～1991.3.31
中村博司	1990.5.1～1996.3.31
大成可乃	1991.4.1～1994.3.31
鳥羽正剛	1991.4.1～1991.5.31
筒井 史	1992.4.1～1994.4.30
小川 公一	1992.4.1～1994.3.31
戸田 達夫	1992.4.1～1994.3.31
上葉 忠雄	1993.4.14～1995.4.13
瀬尾 真由美	1993.7.1～1996.2.28
細川 富貴子	1993.7.1～1995.4.31
小泉 巍	1994.4.1～1999.3.31
宮崎 靖彦	1994.4.1～1996.3.31
小林 敦子	1995.7.1～1997.8.31
大西 徹	1996.12.1～1998.4.15
中島 佐多子	1997.4.1～1997.6.30
神吉 弘視	1997.6.1～1999.3.31
辻野 正彦	1998.4.16～1999.4.13
福田 由裕	1999.4.14～2000.3.31
杉山 幸彦	1992.11.1～2001.1.31
安田 秀雄	1999.4.1～2001.3.31
稲井 弘治	2000.4.14～2001.3.31
深江 恵子	1991.10.1～2002.3.31
永島 暉臣愼	1979.7.1～2002.3.31
	2002.4.1～2002.9.30
白木 秀治	1999.4.1～2003.3.31
松浦 洋一	2001.4.18～2003.3.31
高井 健司	1985.4.1～2005.3.31
森 毅	1979.7.1～2005.3.31
工藤 紘美	1999.4.1～2005.3.31
中川 守一	2003.4.16～2005.3.31
辻 美紀	1994.4.1～2005.9.30
古市 晃	1996.4.1～2006.3.31
杉本 義一	2001.4.1～2006.3.31
西口 一男	2003.4.16～2006.3.31
清水 伸子	1991.4.1～2007.3.31
松尾 信裕	1979.7.1～2007.3.31
山本 忠義	2005.3.1～2007.2.28
木岡 清	2006.4.1～2008.3.31
櫻井 久之	1985.4.1～2008.3.31
鳥居 信子	1994.4.1～2009.3.31
松下 透	2006.4.1～2009.3.31
小田木 富慈美	1990.4.1～2009.7.31
藤田 幸夫	1979.7.1～2010.2.28

在職中の物故者

鈴木 秀典	1981.4.1～1997.7.25
久保 和士	1991.4.1～1999.5.24
中島 道彰	1995.4.14～1996.9.9

Ⅲ．埋蔵文化財の調査事業

１．調査事業

難波宮跡、大坂城跡、大坂城下町跡、長原遺跡など大阪市には周知された埋蔵文化財の包蔵地が数多く分布している。これらの包蔵地で土木工事等を行う場合、実施者が大阪市教育委員会と事前に協議を行い、埋蔵文化財を保護していくうえでの必要な措置が講じられている。

当協会では、埋蔵文化財の残存状況を確認するための試掘調査や、各種の土木工事等に伴う発掘調査を行っている。これまでに1,900件もの調査を実施しており、都市部にあるにもかかわらず、これらの埋蔵文化財包蔵地の残存状況は良好であることが明らかにされてきた。また、近年、新たな遺跡の発見もあり、ここ３年間では約30カ所の遺跡が知られるようになった。

これらの埋蔵文化財包蔵地の正確な地点・規模・年代や遺跡の性格などをより明らかにするために、今後もさらなる調査が必要になってくるものとみられる。

協会発足から平成22(2010)年３月までの発掘調査件数・面積の推移は下図に示した通りである。

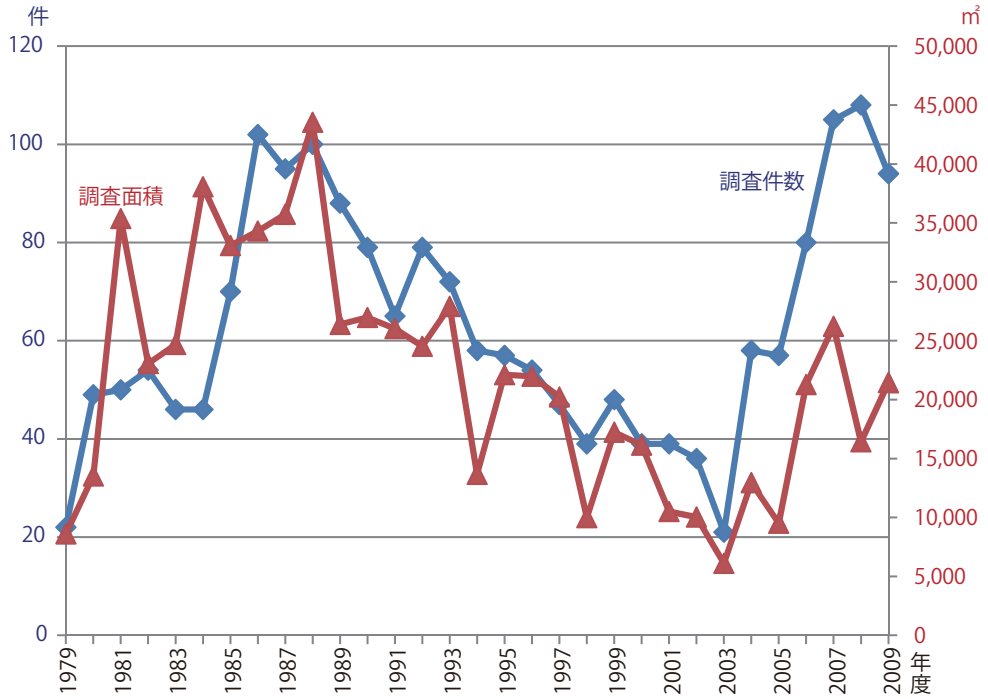

表１　遺跡ごとの年度別発掘調査件数および発掘面積（㎡）

淀川区

遺跡名／年度	1979～1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	計
加島遺跡	0										1	1	2
	0										25	800	825
宮原遺跡・宮原遺跡D地点	1	1							2			3	7
	200	52							112			1,923	2,287
西宮原遺跡	0											2	2
	0											495	495
東三国遺跡	2												2
	370												370
十三東遺跡	0											1	1
	0											7	7
十八条遺跡	0									1			1
	0									100			100
西中島遺跡	0											2	2
	0											225	225

東淀川区

遺跡名／年度	1979～1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	計
三宝寺跡伝承地	1			1	1						2	1	6
	124			50	355						78	890	1,497
三宝寺跡伝承地C地点	0							1					1
	0							60					60
小松遺跡	0											1	1
	0											120	120
小松４丁目所在遺跡	0			1									1
	0			25									25
崇禅寺遺跡	5			1	1								7
	781			60	20								861
摂津国分尼寺跡	0		1								2		1	4
	0		60								10		16	86
大桐２丁目所在遺跡	0		1											1
	0		150											150
西淡路１丁目所在遺跡	0									1		1		2
	0									90		540		630
西淡路１丁目所在遺跡B地点	0										1			1
	0										350			350
豊里６丁目所在遺跡	0										1			1
	0										70			70

大淀区

遺跡名／年度	1979～1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	計
大淀遺跡	0											1	1
	0											24	24

北区

遺跡名／年度	1979～1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	計
安曇寺跡推定地	2							1				1	4
	100							100				8	208

安曇寺跡推定地B地点	0								1				1
	0								49				49
国分寺跡	0							1					1
	0							100					100
茶屋町遺跡	0										1		1
	0										224		224
中崎町遺跡	0											2	2
	0											366	366
広島藩蔵屋敷跡	8	1											9
	3,220	7,500											10,720
中之島3・4・5・6丁目所在遺跡	0	1	1	2	1		1						6
	0	548	4,300	4,500	298		360						10,006
中之島蔵屋敷跡	0								2	1		1	4
	0								890	160		32	1,082
堂島蔵屋敷跡B地点	0										2		2
	0										657		657
佐賀藩蔵屋敷跡	1												1
	1,000												1,000
天神橋遺跡	1		1	1				1		1	3	2	10
	40		546	25				4		140	102	75	932
天満本願寺跡	4			1			1	1	1	3	1		12
	1,218			260			150	30	360	292	18		2,328
天満1丁目所在遺跡	1										1		2
	115										60		175
西天満1丁目所在遺跡	0						1						1
	0						80						80
西天満3丁目所在遺跡	0						1	1					2
	0						21	81					102
東天満1丁目所在遺跡	0	1											1
	0	88											88
同心町遺跡	1									1			2
	55									45			100
同心町遺跡B地点	0				1								1
	0				80								80
豊崎遺跡	1								1			1	3
	50								16			9	75
本庄東遺跡	1			1									2
	100			27									127
福島区													
野田城跡伝承地	0									2			2
	0									25			25
福島1丁目所在遺跡	3						2						5
	1,341						2,950						4,291
中央区・天王寺区・阿倍野区													
難波京朱雀大路跡	9	2		1			2	1	1	2	1	3	22
	946	16		125			471	30	32	40	6	1,492	3,158
中央区・天王寺区													
上本町遺跡	0									6	12	6	24
	0									197	1,631	2,498	4,326
中央区													
安曇寺跡推定地(旧)	8												8
	1,455												1,455
瓦屋町遺跡	0										1		1
	0										500		500
高津御蔵跡	0									1			1
	0									48			48
上本町北遺跡	0				2		1		3				6
	0				115		80		117				312
上本町北遺跡B地点	0							2	1				3
	0							108	108				216
上本町4丁目所在遺跡	3												3
	739												739
大坂城下町跡	35	2	2		2	1	1	8	10	10	6	2	79
	10,565	302	134		434	160	285	782	1,820	790	681	286	16,239
大坂城跡	198	8	3	3	2	3	3	6	8	15	12	8	269
	43,547	507	263	221	569	641	217	769	1,312	903	1,445	1,464	51,858
難波宮跡	129	4	3	3		2	4		3	1		3	152
	54,402	1,662	580	628		487	450		798	190		396	59,593
難波宮跡・大坂城跡	42		1		6	2	3	7	2	3	3		69
	40,868		100		1,617	77	3,174	702	428	2,010	1,606		50,582
大坂城下町跡・難波宮跡	1												1
	14												14
森の宮遺跡	9												9
	2,964												2,964
森の宮遺跡・大坂城跡	4												4
	1,695												1,695
大坂魚市場跡	3												3
	4,500												4,500
難波京朱雀大路跡・大坂城跡	1												1
	290												290
住友銅吹所	4												4
	5,264												5,264
安土2丁目所在遺跡	2												2
	268												268
平野町3丁目所在遺跡	1												1
	65												65
東心斎橋1丁目所在遺跡	0			1									1
	0			88									88
西心斎橋1丁目所在遺跡	0					1				1	1		3
	0					50				8	8		66
島之内2丁目所在遺跡	0						1						1
	0						49						49

今橋4丁目所在遺跡	0							1					1
	0							495					495
難波1丁目所在遺跡	0							1				1	2
	0							81				49	130
日本橋2丁目所在遺跡	0							1					1
	0							20					20
南船場2丁目所在遺跡	0									1			1
	0												0
谷町7丁目所在遺跡	1												1
	175												175
天王寺区・生野区													
細工谷遺跡	3		1	3	2	1	2	1	4		5		22
	2,199		24	220	600	446	285	400	4,345		249		8,768
天王寺区													
大坂城跡	0	3	2			1			2		2		10
	0	1,356	70			70			192		65		1,753
難波京朱雀大路跡・真田出丸跡	0		1										1
	0		48										48
上本町南遺跡	0				1		3	1	3				8
	0				28		174	50	185				437
上本町9丁目所在遺跡	1												1
	282												282
上之宮遺跡	1												1
	25												25
堂ケ芝廃寺	4						1			1		2	8
	858						40			30		222	1,150
堂ケ芝2丁目所在遺跡	0			1									1
	0			250									250
宰相山遺跡	1				1	1							3
	1,200				361	335							1,896
摂津国分寺跡	6					1				1		1	9
	600					90				63		8	761
四天王寺旧境内遺跡	20	1					1			2		1	25
	3,913	80					50			30		98	4,171
四天王寺旧境内遺跡・茶臼山古墳	1												1
	45												45
茶臼山古墳	3												3
	1,226												1,226
天王寺公園遺跡	1												1
	750												750
大道1丁目所在遺跡	0			1					1			1	3
	0			30					21			60	111
小橋町所在遺跡	1												1
	80												80
北河堀町所在遺跡	0	1	1							2	1		5
	0	200	200							75	40		515
伶人町遺跡・茶臼山古墳	0				1								1
	0				15								15
天王寺区・浪速区													
伶人町遺跡	1				1			2		3	2		9
	36				105			35		115	20		311
浪速区													
下寺遺跡	0										3		3
	0										2,009		2,009
恵美須町遺跡	0											1	1
	0											32	32
船出遺跡	0						1	1					2
	0						200	500					700
大国遺跡	0											2	2
	0											627	627
敷津遺跡	0								1		2	1	4
	0								130		200	150	480
浪速元町遺跡	1										1		2
	120										8		128
浪速元町遺跡B地点	0			1									1
	0			50									50
西区													
江戸堀1丁目所在遺跡	0								1				1
	0								56				56
江之子島蔵屋敷跡	0											1	1
	0											96	96
萩藩蔵屋敷跡	0		1										1
	0		60										60
千代崎3丁目所在遺跡	0						3						3
	0						416						416
土佐堀2丁目所在遺跡	0									1			1
	0									100			100
靭本町1丁目所在遺跡	0										1		1
	0										150		150
東成区													
大今里遺跡B地点	0				1								1
	0				243								243
西成区													
岸ノ里遺跡	0				1								1
	0				84								84
長橋1丁目所在遺跡	0		1							1			2
	0		60							16			76
天下茶屋遺跡	0											1	1
	0											160	160
鶴見区													
諸口6丁目所在遺跡	0									1			1
	0									16			16
旭区													
森小路遺跡	93	3	1	2	1	1	1	1	1	3		4	111
	15,302	125	39	265	225	40	16	40	40	70		78	16,240

城東区													
榎並城跡伝承地	0			1									1
	0			43									43
都島区													
網島町遺跡	0											1	1
	0											8	8
生野区													
御勝山古墳	5												5
	768												768
勝山遺跡	1												1
	150												150
林寺町所在遺跡	0		1										1
	0		100										100
勝山北１丁目所在遺跡	0							1					1
	0							60					60
巽東３丁目所在遺跡	0									1			1
	0									80			80
中川２丁目所在遺跡	0											1	1
	0											24	24
阿倍野区													
阿倍寺跡	1								1		1	1	4
	160								360		426	20	966
阿倍野筋南遺跡（一部阿倍野筋遺跡含む）	6	1		1	2				2		1		13
	19,242	57		20	88				80		66		2,235
阿倍野筋北遺跡	0								2	1	2		5
	0								3,113	1,335	186		4,634
丸山古墳	1								1				2
	40								20				60
昭和町遺跡	0										1		1
	0										40		40
松崎町遺跡	0						1						1
	0						30						30
桃ヶ池遺跡	2	1									1		4
	427	376									18		821
南田辺遺跡	0	1											1
	0	81											81
美章園遺跡	0										1		1
	0										70		70
王子町４丁目所在遺跡	0									1		1	2
	0									55		60	115
阿倍野区・東住吉区													
難波大道跡	3			1			1		2				7
	197			24			4		880				1,105
住吉区													
帝塚山古墳群	3							1			1	1	6
	190							408			21	345	964
帝塚山東遺跡	0						1						1
	0						278						278
住吉行宮跡	1							1	1				3
	40							30	14				84
住吉大社境内遺跡	5						1	1	1				8
	323						20	230	200				773
荘厳浄土寺境内遺跡	1				1								2
	18				500								518
遠里小野遺跡	6						3	1	1	2			13
	12,860						56						12,916
山之内遺跡	65	2		1		1		2	1		5	3	80
	33,393	80		35		30		235	64		482	274	34,593
我孫子城跡伝承地	0										1		1
	0										32		32
苅田４丁目所在遺跡	0				1				1	2		2	6
	0				1,150				1,040	36		719.5	2,919.5
苅田９丁目所在遺跡	0										1		1
	0										869		869
南住吉遺跡	16	1		1	1				2	1	2	1	25
	6,537	329		30	1,512				92	20	12	5	8,537
殿辻遺跡	0										2		2
	0										233		233
長居東２丁目所在遺跡	0					1							1
	0					650							650
住之江区													
西住之江遺跡	0										1		1
	0										49		49
東住吉区													
瓜破遺跡	0											1	1
	0											40	40
桑津遺跡	52	4		1			2	4	3	3		1	70
	9,619	282		40			270	174	225	216		150	10,976
今林遺跡	0										1		1
	0										160		160
山坂遺跡	0			1									1
	0			30									30
酒君塚古墳	0			1									1
	0			50									50
大和川今池遺跡	0										1	2	3
	0										8	158	166
矢田１丁目所在遺跡	0											1	1
	0											9	9
矢田遺跡	0											1	1
	0											900	900
住道廃寺	0									1			1
	0									50			50
田辺４丁目所在遺跡	0											2	2
	0											43	43
東住吉区・松原市													
天美西遺跡	0								1				1
	0								100				100
平野区													
瓜破遺跡	32		2	2			6	3		5		1	51
	16,324		1,919	900			1,022	2,940		3,680		1,560	28,345
瓜破北遺跡（一部瓜破遺跡も含む）	10						1		1	2			14
	4,943						380		310	5,393			11,026
瓜破南１丁目所在遺跡	0	1											1
	0	100											100
加美遺跡	28		5	1			1	1				1	37
	27,743		2,855	700			8	100				500	31,906
喜連東遺跡	25	2	1									1	29
	22,380	1,470	1,450									490	25,790
喜連東Ｂ地点所在遺跡	0		1										1
	0		90										90
亀井北遺跡	1			1	1	1				1			5
	13			81	40	132				19			285
長原遺跡	351	7	7	3	5	4	7	3	7	3	5	7	409
	162,142	2,023	3,024	1,716	2,741	2,890	1,400	936	4,309	1,656	1,004	3,889	187,730
平野環濠都市遺跡	25		1				1			3		3	33
	2,263		56				20			17		76	2,432
平野馬場遺跡	0											1	1
	0											150	150

２．保存処理事業

当協会では1988年に担当職員を置き、保存科学事業を行ってきた。2000年からは大阪歴史博物館事業にも携わり、以後継続している。以下にその概要を紹介する。

＜出土文化財の保存処理＞

金属製品の保存処理について、1997年にはエックス線透過撮影装置を、2002年には減圧含浸処理装置および脱塩処理装置を導入した。これにより、保存処理に際しての事前調査や記録、そして脱塩処理から合成樹脂の含浸処理という一貫した金属製品の保存処理作業が可能となった。

木製品の保存処理方法として、当初はPEG含浸処理法を採用していたが、1996年に作業時間が短く処理後の保管も容易な糖アルコール含浸処理法を開発、実用化に成功した。その後、さまざまな条件の木製品に適応させるべく実験を重ね、より精度の高い処理方法として確立するとともに、2004年には同処理方法に特化した含浸処理装置・結晶化促進装置を開発し、導入した。これによって、より一層効果的な木製品処理を実現することができた。

＜科学的調査＞

蛍光エックス線分析装置を用いて、金属製品や金属加工に係る資料などの分析・調査を行ってきた。分析で得られた結果から資料に含まれている成分を特定することにより、より適正な保存処理を行うとともに、金属加工技術に関わる調査研究にも有効な情報を得ることができ、大きな成果をあげている。

＜前期難波宮遺構の現地保存と公開＞

大阪歴史博物館では、飛鳥時代の難波宮西方官衙地域で発掘調査された掘立柱建物の柱穴を保存し、常時公開を行っている。現地での遺構保存と公開は大阪市において初例となるものである。これら遺構の保存処理についてはカビの繁殖防止、土中から析出する塩類の除去、乾燥によるひび割れ防止など、開館準備段階から継続して対応するとともに、現在も保存環境の記録を行っている。

＜博物館館蔵資料の科学的調査＞

大阪歴史博物館が所蔵する考古資料･美術工芸品などについて、科学的手法を用いた調査および保存処理を行っている。その成果の一部は、同館の第11回特集展示「文化財のクリニック－Ｘ線診断から修復・保存へ－」(2002年12月18日～2003年２月３日)として公開した。

３．発掘調査報告書の刊行

発掘調査後に、出土遺物・図面・写真を整理し、調査成果をまとめた発掘調査報告書を刊行した。1999年10月発行の『20年のあゆみ』以降に刊行された発掘調査報告書は94冊に上り、そのほか、朝鮮・日本石造物に関する報告書を１冊上梓した。それ以前の20年間に54冊を刊行したが、この10年の報告書はその倍近くに達する冊数である。編集作業は、ほとんど全てをDTP化することで、効率化と経費低減を目指している。なお詳細は表２、または当協会ホームページを参照されたい。

４．資料の保管

発掘調査で出土した埋蔵文化財は、調査報告書が終了した段階で、従来に引き続き平野区長吉出戸の大阪市埋蔵文化財収蔵倉庫に保管している。また、木器・金属器などの特別な処置が必要な遺物については、長原調査事務所内の空調設備を持った特別収蔵庫において保管している。2009年度現在で、埋蔵文化財の保管コンテナ数は約５万箱に上る。

実測図原図・写真などの各種調査記録は、上記の収蔵庫のほか、難波宮調査事務所・長原調査事務所で保管している。また、撮影委託した写真、重要遺跡・遺物の写真は本部で一元的に保管・管理をしている。

５．現地説明会などの開催

特に重要な成果があった発掘調査については、市民を対象とした現地説明会や近隣住民を対象とした現地公開を適宜開催した。『20年のあゆみ』以後は40回、発足以来の累計は124回に上る。詳細は表３を参照されたい。

表２　過去10年間に刊行した発掘調査報告書一覧

書　名	判型/本文頁数/図版頁数	刊行年
『阿倍野筋北遺跡発掘調査報告』	（A4/74/10）	2009
『瓜破・瓜破北遺跡発掘調査報告』	（A4/187/32）	2000
『瓜破遺跡発掘調査報告』Ⅱ	（A4/136/27）	2002
『瓜破遺跡発掘調査報告』Ⅲ	（A4/70/23）	2003
『瓜破遺跡発掘調査報告』Ⅳ	（A4/34/16）	2005
『瓜破遺跡発掘調査報告』Ⅴ	（A4/76/10）	2007
『瓜破遺跡発掘調査報告』Ⅵ	（A4/74/19）	2009
『瓜破遺跡発掘調査報告』Ⅶ	（A4/102/25）	2009
『瓜破北遺跡発掘調査報告』Ⅲ	（A4/118/23）	2006
『瓜破北遺跡発掘調査報告』Ⅳ	（A4/234/57）	2009
『瓜破北遺跡発掘調査報告』Ⅴ	（A4/138/25）	2009
『遠里小野遺跡発掘調査報告』Ⅰ	（A4/92/19）	2006
『遠里小野遺跡発掘調査報告』Ⅱ	（A4/41/10）	2009
『加美遺跡発掘調査報告』Ⅰ	（A4/152/51）	2003
『加美遺跡発掘調査報告』Ⅱ	（A4/192/37）	2004
『苅田４丁目所在遺跡発掘調査報告』	（A4/61/19）	2004
『苅田４丁目所在遺跡発掘調査報告』Ⅱ	（A4/96/28）	2008
『苅田９丁目所在遺跡発掘調査報告』	（A4/45/10）	2009
『喜連東遺跡発掘調査報告』Ⅰ	（A4/46/12）	2003
『亀井北遺跡発掘調査報告』	（A4/34/7）	2004
『広島藩大坂蔵屋敷跡』Ⅰ	（A4/168/44）	2003
『広島藩大坂蔵屋敷跡』Ⅱ	（A4/280/55）	2004
『宰相山遺跡発掘調査報告』Ⅰ	（A4/65/21）	2004
『宰相山遺跡発掘調査報告』Ⅱ	（A4/40/20）	2004
『細工谷遺跡発掘調査報告』Ⅲ	（A4/70/35）	2007
『山之内遺跡発掘調査報告』Ⅱ	（A4/146/35）	1999
『森小路遺跡発掘調査報告』Ⅰ	（A4/221/40）	2001
『崇禅寺遺跡発掘調査報告』Ⅰ	（A4/43/9）	1999
『荘厳浄土寺境内遺跡発掘調査報告』	（A4/101/29）	2004
『大坂城下町跡』Ⅱ	（A4/486/62）	2004
『大坂城跡』Ⅳ	（A4/139/42）	1999
『大坂城跡』Ⅴ	（A4/72/31）	2002
『大坂城跡』Ⅵ	（A4/260/50）	2002
『大坂城跡』Ⅶ	（A4/372/50）	2003
『大坂城跡』Ⅷ	（A4/48）	2007
『大坂城跡』Ⅸ	（A4/24）	2008
『大坂城跡』Ⅹ	（A4/60/14）	2009
『大坂城跡』Ⅺ	（A4/60/8）	2009
『大阪市南部遺跡発掘調査報告』	（A4/170/18）	2009
『大阪市埋蔵文化財発掘調査報告 －1998年度－』	（A4/112/26）	2001
『大阪市埋蔵文化財発掘調査報告 －1999・2000年度－』	（A4/196/48）	2002
『大阪市埋蔵文化財発掘調査報告 －2001・2002年度－』	（A4/136/34）	2003
『長居東２丁目所在遺跡 発掘調査報告書』	（A4/37/6）	2005
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』Ⅻ	（B5/143/36）	1999
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』XIII	（B5/161/49）	1999
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』XIV	（B5/146/50）	1999
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』XV	（B5/176/59）	2000
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』XVI	（B5/210/53）	2001
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』XVII	（B5/129/36）	2001
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』XVIII	（B5/40/14）	2002
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』XIX	（B5/60/20）	2003
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』XX	（B5/82/23）	2003
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅱ	（A4/135/43）	1999
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅲ	（A4/265/59）	2000
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅳ	（A4/122/28）	2001
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅴ	（A4/136/36）	2002
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅵ	（A4/112/33）	2003
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅶ	（A4/77/39）	2004
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅷ	（A4/118/23）	2005
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅸ	（A4/51/15）	2006
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅹ	（A4/57/31）	2007
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅺ	（A4/72/37）	2008
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』Ⅻ	（A4/40/11）	2009
『長原遺跡東部地区発掘調査報告』XIII	（A4/55/17）	2010
『長原遺跡発掘調査報告』Ⅶ	（A4/195/49）	1999
『長原遺跡発掘調査報告』Ⅷ	（A4/119/41）	2002
『長原遺跡発掘調査報告』Ⅸ	（A4/82/31）	2002
『長原遺跡発掘調査報告』Ⅹ	（A4/42/9）	2003
『長原遺跡発掘調査報告』Ⅺ	（A4/69/20）	2004
『長原遺跡発掘調査報告』Ⅻ	（A4/328/65）	2005
『長原遺跡発掘調査報告』XIII	（A4/24/5）	2005
『長原遺跡発掘調査報告』XIV	（A4/36/15）	2006
『長原遺跡発掘調査報告』XV	（A4/296/45）	2007
『長原遺跡発掘調査報告』XVI	（A4/105/26）	2008
『長原遺跡発掘調査報告』XVII	（A4/166/39）	2008
『長原遺跡発掘調査報告』XVIII	（A4/136/27）	2009
『天満本願寺跡発掘調査報告』Ⅴ	（B5/44/15）	2003
『天満本願寺跡発掘調査報告』Ⅵ	（A4/29/15）	2008
『天満本願寺跡発掘調査報告』Ⅶ	（A4/24/5）	2010
『堂島蔵屋敷跡』Ⅱ	（A4/84/16）	2006
『堂島蔵屋敷跡』Ⅲ	（A4/90/14）	2010
『南住吉遺跡発掘調査報告』Ⅱ	（A4/28/3）	2002
『南住吉遺跡発掘調査報告』Ⅲ	（A4/61/15）	2004
『難波宮址の研究』第十一	（A4/280/108）	2000
『難波宮址の研究』第十二	（A4/230/36）	2004
『難波宮址の研究』第十三	（A4/110/24）	2005
『難波宮址の研究』第十四	（A4/82/30）	2005
『難波宮址の研究』第十五	（A4/92/31）	2008
『難波宮址の研究』第十六	（A4/122/21）	2010
『難波大道跡発掘調査報告』	（A4/50/9）	2007
『瓦屋町遺跡発掘調査報告』	（A4/70/13）	2009
『殿辻遺跡発掘調査報告』	（A4/25/4）	2009
『山之内遺跡発掘調査報告』Ⅲ	（A4/30/11）	2010
『西淡路１丁目所在遺跡発掘調査報告』	（A4/62/6）	2010
『大阪市内における朝鮮・日本石造物調査報告』	（A4/12/9）	2002

表３　過去10年間に実施した現地説明会一覧

開 催 日	遺跡名および調査次数	参加人数
1999.10.23	難波宮跡発掘調査(NW99－12次)	200
2000.11.5	難波宮跡発掘調査(NW00－11次)	3,000
2001.2.4	広島藩大坂蔵屋敷跡発掘調査(HS00－１次)	500
2001.8.5	広島藩大坂蔵屋敷跡発掘調査(HS01－１次)	100
2001.1.10/1.11	難波宮跡発掘調査(NW01－５次)	900
2002.9.14	苅田4丁目所在遺跡発掘調査(KL02－１次)	300
2002.10.20	長原遺跡発掘調査(NG02－１次)	226
2002.11.3	難波宮跡発掘調査(現場公開)(NW02－８次)	900
2002.11.30	難波宮跡発掘調査(NW02－８次)	196
2003.3.1	荘厳浄土寺境内遺跡発掘調査(SG02－１次)	40
2003.5.11	長原遺跡発掘調査(NG02－８次)	200
2003.6.29	南住吉遺跡発掘調査(MN02－６次)	60
2003.9.27	長原遺跡発掘調査(NG03－５次)	350
2004.1.23	大坂城跡発掘調査(OS03－13次)	130
2004.1.24	長原遺跡発掘調査(NG03－６次)	350
2004.3.7	難波宮跡発掘調査(NW03－８次)	120
2005.1.19	福島1丁目所在遺跡発掘調査(FK04－１・２次)	40
2005.3.13	難波宮跡発掘調査(NW04－１次)	120
2005.3.13	難波宮跡発掘調査(NW04－４次)	40
2006.2.15	特別史跡大坂城跡発掘調査(OS05－１次)	350
2006.2.24	住吉大社境内遺跡発掘調査(SM05－１次)	70
2006.5.1	遠里小野遺跡発掘調査(OR05－１次)	200
2006.8.31	苅田4丁目所在遺跡発掘調査(KL06－１次)現地公開	160
2006.9.16	細工谷遺跡発掘調査(SD06－１次)	180
2006.9.23	難波宮跡発掘調査(NW06－２次)	約300
2006.10.27	天満本願寺跡発掘調査(現地公開)(TN06－１次)	210
2006.11.18	難波宮跡発掘調査(NW05－９次)	628
2006.12.23	難波宮跡発掘調査(NW06－３次)	300
2007.3.10	特別史跡大坂城跡発掘調査(OS06－８次)	2,000
2007.3.17	長原遺跡発掘調査(NG06－３・４次)	450
2007.9.29	遠里小野遺跡発掘調査(OR07－２次)	190
2007.10.20	瓜破遺跡発掘調査(UR07－１次)	約350
2007.10.20	瓜破北遺跡発掘調査(UR07－２次)	379
2007.10.27	阿倍野筋北遺跡発掘調査(AS07－１次)	350
2007.12.8	難波宮跡発掘調査(NW07－２次)	255
2008.3.15	瓜破北遺跡発掘調査(UR07－３次)	740
2008.12.23	難波宮跡発掘調査(NW08－２次)	208
2009.3.14	難波宮跡発掘調査(NW08－３次)	202
2009.9.17	難波京朱雀大路跡(現地見学会)(NS09－１次)	約50
2010.1.10	難波宮跡発掘調査(NW09－２次)	453

Ⅳ．博物館受託および指定管理事業

2001年11月に開館した大阪歴史博物館は、大阪市立博物館の新館である「大阪市立新博物館」と難波宮の遺跡博物館である「考古資料センター」双方の構想を統合したものである。当協会では1993年から考古資料センターの基本計画策定に参画をはじめたことを皮切りに、建設準備室に職員を派遣して常設展示の基本構想に参画するとともに、2001年５月に博物館の管理運営を受託して以降、協会固有職員の学芸員６名が今日まで博物館学芸業務に従事している。以来、常設展示の「難波宮の時代」(10F)、「歴史を掘る」（８F)を運営するとともに、大阪市内の発掘調査資料を活用した特別展『よみがえる銅』展(2003年)や難波宮発掘調査50周年記念『古代都市誕生』展(2004年)を企画、開催した。ほかに、毎年の発掘調査成果の速報展である特集展示『新発見！なにわの考古学』展などの展覧会事業、講演会『大阪の歴史を掘る』や『金曜歴史講座』、『考古学入門講座』などの教育普及事業を恒例として開催してきた。また、市内小学校と連携した「難波宮体験発掘」も毎年行うなど、博物館事業の活性に努めている。

2006年４月に大阪市の博物館美術館の運営に指定管理者制度が導入され、当協会は大阪歴史博物館と大阪市立自然史博物館の指定管理者となった。

さらに2010年４月からは大阪市立東洋陶磁美術館の指定管理者であった財団法人大阪市美術振興協会と当協会が統合し、博物館・美術館の管理代行は、上記２館のほか大阪市立美術館・大阪市立東洋陶磁美術館・大阪城天守閣の計５館となる予定である。

V．教育普及事業

1．文化財情報『葦火』の刊行

大阪市内の文化財情報を掲載した『葦火』は1986年に創刊され、年に６回の刊行を重ねて2010年２月号で24巻144号を数える。定期購読者は160名である。発掘調査で見つかった特筆すべき成果を市民に伝える速報誌としての役割のほか、市内の埋蔵文化財のミニ展示コーナーを紹介する「街角ミュージアムin大阪市」、市内各所に保存されている遺構見学のための手引き「地下に残る大阪の歴史」などの連載コラムも掲載してきた。掲載情報の詳細は当協会ホームページを参照されたい。

2．普及図書の編集

当協会発行の刊行物以外に、次のような協会学芸員が原稿を執筆、または執筆の上編集した普及図書がある。

・『おおさか不思議発見　遺跡が語る大阪のルーツ』（2000年：財団法人大阪市教育振興公社編集発行）
・『なにわ考古学散歩』（2007年：学生社発行、当協会編集）
・『大阪遺跡　出土品・遺構は語るなにわ発掘物語』（2008年：創元社発行、当協会編集）
・大阪日日新聞「おおさか考古学百景」2004年10月～2006年12月28日（毎木曜日）　計８部／116回

3．資料の貸出・提供

当協会は発掘調査によって得られた埋蔵文化財を保管し、調査や整理作業中に作成した図面・写真資料を所有している。文化財の場合は教育委員会の了承のもと、それらに対する外部からの借用や使用申請に応じている。1998年度までには合計958件の貸出・提供件数であった。その後、2009年までの数は合計957件であり、倍近くの傾向にある。その内訳は別表を参照されたい。

表４　各年度の資料貸出数

年　度	保管資料（実　物）出品件数	所蔵資料（写真・図）提供件数	小　計（件）
1999	26	57	83
2000	24	57	81
2001	31	67	98
2002	34	61	95
2003	21	60	81
2004	15	58	73
2005	13	52	65
2006	22	53	75
2007	27	83	110
2008	33	67	100
2009	30	66	96
合　計	276	681	957

4．収蔵図書と利用者数

当協会が所有する図書は、埋蔵文化財発掘調査報告書、文化財を中心とする学術関連図書、研究紀要、一般図書など、2010年２月末現在で約67,100冊になる。また文化財や歴史関係の雑誌は約16,200冊である。これらは海外も含む全国の諸機関・個人から寄贈されたもの、および当協会で購入したものであり、特に、中国および朝鮮半島の歴史に関する書籍が多い（中国：図書約3,500冊・雑誌4,200冊／朝鮮半島：図書約2,800冊・雑誌約680冊）。これは当協会の盛んな海外交流の結果、集積されてきたものである。また、当職員のみならず、他の研究機関および大学関係者から個人研究者まで、幅広い層の方々に利用されている。

当協会書庫のようす

5．展示

協会設立20周年以降は、2000年10月に第18回「大阪の歴史を掘る」講演会にあわせ、会場のクレオ大阪東にて過去１年間の発掘調査成果を展示した。また、大阪市立博物館展示コーナーでは、同館が閉館する2001年３月末まで第21回「近世大坂異国之往来」、第22回「発掘古代難波工房」を企画・展示した。これらの発掘調査速報展および大阪市の博物館における恒例展示は、2001年11月に大阪歴史博物館が開館することで、以後、その開催場所を同館内へ移すこととなり、常設展示「難波宮の時代」・「歴史を掘る」および年に１回の特集展示「新発見！なにわの考古学」展として現在まで継続している。

また、引き続き大阪市埋蔵文化財収蔵展示室（長原調査事務所内：1999～2008年で6,935人）および難波宮跡資料展示室（難波宮調査事務所内：同17,758人）で発掘調査成果を公開し、大阪府立弥生文化博物館および近つ飛鳥博物館との共催による「発掘速報展大阪2000」・「同2001」展（2000・2001）も開催した。そのほか、大阪市環境事業局舞洲工場（2001）・平野工場（2002）、大阪市立中央図書館をはじめとする各区図書館展示（1999～）、そのほか市内区役所・区民センターなど公共施設、市立小中学校、民間の企業・大型集合住宅などでの常設展示30数件（「街角ミュージアム」年により増減あり）、また、市民団体による区民ギャラリーなどでの短期間展示への協力も行った。

表５　展示室の観覧者数推移

	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
大阪市埋蔵文化財収蔵展示室	2000	2321	1789	2601	1081	1081	1232	687	353	658	202	559	515	649	526	812	752	460	659	751	863	905	471	736
難波宮跡資料展示室							1050	1147	940	1186	727	1731	918	1044	1837	1782	2379	1738	1713	2186	1570	1634	1319	1600
見学者数合　計	2000	2321	1789	2601	1081	1081	2282	1834	1293	1844	929	2290	1433	1693	2363	2594	3131	2198	2372	2937	2433	2539	1790	2336

6．講演会・講座の開催と講師派遣

従来、恒例となっていた長原調査事務所の「文化財講演会」（1990～：３回６本／年）、「東アジアの歴史を探る」（1991～：１回／年）は、2001年で最終回を迎えた。翌年からは他の教育普及事業と同じく、大阪歴史博物館を会場とする講演会や連続講座を数多く開催した。「金曜歴史講座」（2002～：約３シリーズ12～15本／年）、「大阪の歴史を掘る講演会」（継続：１回／年）、「考古学入門講座」（2002～：１回５～６本／年）などは、博物館事業としても定着しつつあるものである。また、公共団体が開催している定期講演会や連続講座についても、引き続き企画や講師派遣を行っている。（財）平野区画整理記念会館「住民大学講座」は毎年7本の連続講座を行うもので、1983年から現在まで続いているほか、この10年間では（財）大阪市教育振興公社「いちょう大学（歴史と考古学コース）」や大阪市立住吉人権文化センター「“大阪を学ぼう”おおさか考古学百景」、阿倍野区地域協働学習プログラム事業「阿倍野区歴史講座」、平野区誌出版記念連続講座「わがまち平野区そのなりたちを学ぶ」などが加わっている。これら以外にも諸団体主催の歴史関連の講演会に依頼があれば、適宜講師を派遣している。

7．学校との連携

1999年から、難波宮跡にて小学校を対象とした体験発掘事業を開始し、現在まで下記の参加を得た。

表６　各年度の難波宮跡体験発掘参加校・参加者数

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	合計
校数	10	7	10	15	9	13	11	11	6	6	6	104
参加人数	636	467	688	900	620	977	952	828	449	460	409	7,386

8．各種のイベントとの連携

市民団体や地域連携の一環として、下記のようなイベントに共催または協力した。

・難波宮フェスティバル(1995～2001)
・中央区民まつり(1999～現在)
・生涯学習フェスティバル(1999～2004)
・関西ミュージアムメッセ(2000)
・長原ふれあい祭り(2002～現在)
・六反長原古代市(2003～現在)
・大阪自然史フェスティバル(2002・2003・2005)
・７月28日(なにわ)の日は難波宮フェスタ！（2007～現在)
・難波宮アクションペインティング(2005～現在)

表７　過去10年間に実施した講演会および講師派遣等

日程	適用	タイトル	場所	当協会講師	参加人数
1999/4/16		第13回東アジアの歴史を探る	市立中央青年センター	1	48
1999/5/15		「よみがえる近世大坂」展講演会	市立中央図書館	1	250
1999/6/12・9/11・200/1/22		文化財講演会「考古学の新しい試み」(全３回)	平野区民センター・長原調査事務所	2	799
1999/7/23・8/6		夏休み親子体験学習「土器をつくろう」(全２回)	長原調査事務所		70
1999/10/24		国際講演会『東アジア考古学最新事情　秦始皇帝から韓、倭まで』	エル・シアター	0	750
2000/1/29～3/11	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」(全７回)	平野区画整理記念会館	4	376
2000/2/20		シンポジウム「再発見・天下の台所－蔵屋敷のひみつ－」	市立中央図書館	1	300
2000/3/10		第14回東アジアの歴史を探る	市立中央青年センター	2	50
1999年度	派遣	その他講師派遣等33件		42	
2000/5/13		「なにわ・大阪"みず"の歴史」展講演会	市立中央図書館	1	150
2000/6/17・9/9・2001/1/20		文化財講演会「遺跡と遺物をよみ解く」(全３回)	長原調査事務所	6	131
2000/7/28・8/10		夏休み親子体験学習「土器をつくろう」(全２回)	長原調査事務所		23
2000/11/24～2001/2/9	派遣	あべの市民セミナー「なにわの考古学事始め」(全８回)	阿倍野市民学習センター	8	240
2001/2/3～3/17	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」(全７回)	平野区画整理記念会館	4	392
2001/2/9～3/9	派遣	大阪市人権感覚育成モデル事業「歴史の中の共生」(全５回)	長原調査事務所	5	124
2000年度	派遣	その他講師派遣等41件		54	
2001/4/2		第15回東アジアの歴史を探る（最終回）	市立中央青年センター	1	34
2001/5/12		「『食べる』食料獲得と調理の歴史」展講演会	市立中央図書館	1	200
2001/6/23・9/15・12/22		文化財講演会「河内平野の弥生時代」(1)・(2)・(3)（最終回）	長原調査事務所	6	214
2001/7/27・8/10		夏休み親子体験学習「埴輪をつくろう！」(全２回)	長原調査事務所		41
2002/1/25～2/15	派遣	大阪市「みんなで創ろう人権学習」モデル事業「博物館探検」	大阪歴史博物館	1	84
2002/2/2～3/16	派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」(全７回)	平野区画整理記念会館	3	270
2001年度	派遣	その他講師派遣等16件		22	
2002/7/26・8/9		なにわ歴博「夏休み土器づくり体験」(全２回)	長原調査事務所	3	25
2002/8/2～9/20		金曜歴史講座「最新の考古学事情」(全８回)	大阪歴史博物館	8	1252
2002/11/8～12/20		金曜歴史講座「考古学をめぐるさまざまな学問世界」(全７回)	大阪歴史博物館	7	801
2002/12/22		大阪市文化財協会講演会「新発見の高句麗壁画古墳と楽浪古墳」	大阪歴史博物館	1	220
2003/1/12～2/16		考古学入門講座（全６回）	大阪歴史博物館	10	282
2003/2/1～3/15	派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」(全７回)	平野区画整理記念会館	3	270
2003/2/7～2/21	派遣	大阪市「市民人権学習」モデル事業「日本列島と朝鮮半島」	大阪歴史博物館	3	82
2002/	企画・派遣	いちょう大学「大阪の歴史と考古学」(全７回)	大阪市総合学習センター	7	
2002年度	派遣	その他講師派遣等10件		11	
2003/7/11～8/1		金曜歴史講座「大阪発掘最前線2003」	大阪歴史博物館	4	445
2003/7/26		山根徳太郎没後30年特別講演会「難波宮と山根徳太郎」	大阪歴史博物館	0	257
2003/8/23・8/24		夏休み親子体験学習「石器をつくろう」	大阪歴史博物館	2	120
2003/8/31	派遣	普及講演会「大阪100万年の自然と人のくらし」	大阪歴史博物館	2	
2003/9/12～10/3		金曜歴史講座「考古学からみた物づくり」	大阪歴史博物館	4	326
2003/9/13・10/11	派遣	飛鳥青少年会館「東淀川の歴史と文化財」(全２回)	飛鳥青少年会館	2	
2003/9/25・10/16	派遣	あべの市民セミナー「大阪歴史探訪」(全２回)	阿倍野市民学習センター	2	
2003/10/1～12/3	企画・派遣	いちょう大学「大阪の歴史と考古学」(全５回)	大阪市総合学習センター	5	
2003/11/21～12/19		金曜歴史講座「考古学からみた物と人の動き」	大阪歴史博物館	5	527
2004/1/31～3/13	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」(全５回)	平野区画整理記念会館	2	182
2004/2/8～3/7		考古学入門講座「考古学入門－土器と埴輪　見る・触る・感じる－」	大阪歴史博物館	5	187
2004/3/20・3/21	派遣	大阪自然史フェスティバル	大阪市立自然史博物館	3	
2003年度	派遣	その他講演会・研修・学校講師派遣等17件		21	
2004/5/27・10/7	派遣	あべの市民セミナー「大阪歴史探訪」(全２回)	阿倍野市民学習センター	2	
2004/6/12・6/20		「難波宮」・「大坂城」－上町台地に築かれた二大遺跡の最新発掘情報－	大阪歴史博物館	1	880
2004/7/9～7/30		金曜歴史講座「大阪発掘最前線2004」	大阪歴史博物館	4	501
2004/8/18～8/30		夏休み体験学習講座「大坂の土人形を作ってみよう」	大阪歴史博物館	2	300
2004/9/3～10/3		金曜歴史講座「弥生～古墳時代の最新事情」	大阪歴史博物館	5	690
2004/10/20～11/24	企画・派遣	いちょう大学「大阪の歴史と考古学」(全５回)	大阪市総合学習センター	5	200
2004/11/5～12/3		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	5	428
2004/11/5～2005/3/19		わくわく子供教室「考古学を体験してみよう」(全５回)	大阪歴史博物館	11	257

2004/11/6		この地で歴史が動いた第３回「大化改新と難波宮～難波宮発掘50周年～」	NHK-BK ホール	1	917
2004/11/13	派遣	大阪市生涯学習フェスティバル「土人形をつくろう」	OCAT	2	180
2004/12/11		難波宮跡発掘50周年記念フォーラム「なにわの宮、発掘と保存の半世紀－新しい歴史空間の創造をめざして－」	大阪歴史博物館	2	248
2005/1/29～2005/3/12	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」（全７回）	平野区画整理記念会館	1	92
2005/2/8～3/7		考古学入門講座「考古学の基礎・遺跡を訪ねて景観から学ぶ」	大阪歴史博物館	5	187
2005/3/1～3/22	派遣	難波市民学習センター「近世大坂の町と暮らし－近年の発掘成果から」	難波市民学習センター	4	200
2004 年度	派遣	その他講演会・研修等講師派遣21 件		21	
2005/6/10～7/1		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	654
2005/7/17～12/11	企画・派遣	平野区誌出版記念連続講座「わがまち平野区そのなりたちを学ぶ」（全６回）	平野区民ホール	6	約 540
2005/7/31～2006/2/18		わくわく子供教室「考古学を体験してみよう」（全５回）	大阪歴史博物館	13	400
2005/8/19～9/9		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	426
2005/9/22・29・10/6	企画・派遣	「さわって学ぼう住吉の文化財」	住吉人権文化センター	1	25
2005/10/19～11/16	派遣	いちょう大学「大阪の歴史と考古学」（全５回）	大阪市総合学習センター	5	200
2005/10/28～11/18		金曜歴史講座「大阪発掘最前線2005」	大阪歴史博物館	4	512
2005/11/5		河内平野における古墳の出現－久宝寺遺跡と加美遺跡－	大阪歴史博物館	2	230
2006/1/5		世界考古学会議中間会議大阪大会記念シンポジウム	大阪歴史博物館・大阪市中央公会堂		400・約200
2006/1/27～3/10	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」（全７回）	平野区画整理記念会館	3	240
2006/2/1～3/15	企画・派遣	阿倍野区歴史講座（全７回）	阿倍野市民学習センター	4	240
2006/2/25～3/25		考古学入門講座「おおさか考古学散歩」	大阪歴史博物館	10	150
2006/3/11・12	派遣	自然史フェスティバル石器づくり	大阪市立自然史博物館	2	
2005 年度	派遣	その他講演会・研修等講師派遣35 件		39	
2006/4/9～8/27	企画・派遣	平野区誌出版記念連続講座「わがまち平野区そのなりたちを学ぶ」（全５回）	平野区民ホール	2	240
2006/6/16～7/7		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	398
2006/6/24～2007/2/24		わくわく子供教室「考古学を体験してみよう」（全７回）	大阪歴史博物館	13	650
2006/7/19～8/23	企画・派遣	阿倍野区歴史講座（全５回）	阿倍野市民学習センター	5	350
2006/7/28～8/18		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	389
2006/7/29		都城制研究シンポジウム「難波宮と飛鳥宮－新たな歴史像を探る－」	大阪歴史博物館	1	175
2006/10/11～11/1	企画・派遣	住吉人権文化センター　秋講座「遺跡が語る住吉の歴史」（全４回）	住吉人権文化センター	6	160
2006/10/13～11/3		金曜歴史講座「大阪発掘最前線2006」	大阪歴史博物館	4	413
2006/10/30～12/1	企画・派遣	いちょう大学「大阪の歴史と考古学」（全５回）	大阪市総合学習センター	5	200
2006/12/2		古墳時代に生きた渡来人の軌跡－長原遺跡・蔀屋北・上私部遺跡を中心に－	大阪歴史博物館	2	320
2007/2/2～3/16	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」（全７回）	平野区画整理記念会館	1	80
2006/2/24～3/24		考古学入門講座「おおさか考古学散歩」	大阪歴史博物館	10	150
2007/3/21		なにわの万葉大賞記念シンポジウム「なにわの宮に万葉歌の源流を探る」	大阪歴史博物館	0	269
2007/3/24～3/31	企画・派遣	市民セミナー「親子で学ぶ大阪の歴史－原始・古代編－」（全４回）	難波市民学習センター	3	
2007/3/24～3/31	企画・派遣	「さわって学ぼう！福島の文化財」（全４回）	福島図書館	10	80
2006 年度	派遣	その他講演会・研修等講師派遣９件		9	
2007/5/18～6/8		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	383
2007/9/7～9/28		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	533
2007/11/9～11/30		金曜歴史講座「大阪発掘最前線2007」	大阪歴史博物館	3	394
2007/12/16		遺跡シンポジウム「弥生人の住まいを探る－長原・八尾南・久宝寺－」	大阪歴史博物館	1	177
2008/3/20		「なにわの宮新作万葉歌」シンポジウム「はるくさの歌-古代難波の風景を探る－」	大阪歴史博物館	1	100
2007/6/17～10/21	企画・派遣	平野区誌出版記念連続講座「わがまち平野区そのなりたちを学ぶ」（全５回）	平野区民ホール	3	360
2007/6/29～11/30	企画・派遣	いちょう大学「大阪の歴史と考古学」（全５回）	大阪市総合学習センター	5	200
2007/7/6～8/3	企画・派遣	阿倍野区歴史講座（全５回）	阿倍野市民学習センター	5	280
９月 11 日	企画・派遣	北区役所いきいき講座「遺跡が語る北区の歴史」	北区役所	4	120
2008/2/1～3/14	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」（全７回）	平野区画整理記念会館	2	160
2007 年度	派遣	2007 年度その他講演会・研修等講師派遣 17 件		28	
2008/6/27～7/18		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	535
2008/8/29～9/19		金曜歴史講座「大阪発掘最前線2008」	大阪歴史博物館	4	537
2008/11/21～12/12		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	328
2009/3/20		「なにわの宮新作万葉歌」シンポジウム「『万葉集』誕生の道のりをたどる」	大阪歴史博物館	1	230
2008/7/20		歌木簡が語る万葉の世界－紫香楽宮と難波宮－	大阪歴史博物館	0	240
2008/7/13～11/30	企画・派遣	平野区誌出版記念連続講座「わがまち平野区そのなりたちを学ぶ」（全５回）	平野区民ホール	3	360
2008/9/26～11/7	企画・派遣	いちょう大学「大阪の歴史と考古学」（全５回）	大阪市総合学習センター	5	200
2009/1/30～3/13	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」（全７回）	平野区画整理記念会館	2	160
2008/6/11～2009/3/11	企画・派遣	住吉人権文化センター「“大阪を学ぼう”おおさか考古学百景」（全11回）	住吉人権文化センター	11	535
2008 年度	派遣	その他講演会・研修等講師派遣等31 件		33	
2009/5/30	企画・派遣	畿内の都城と大道－難波大道の発掘は何を語るか－	大阪歴史博物館	1	203
2009/7/10～7/31		金曜歴史講座「大阪発掘最前線2009」	大阪歴史博物館	4	555
2009/9/4～9/25		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	662
200911/13～12/4		金曜歴史講座「考古学、千夜一夜」	大阪歴史博物館	4	402
2009/6/21～10/18	企画・派遣	平野区誌出版記念連続講座「わがまち平野区そのなりたちを学ぶ」（全５回）	平野区民ホール	2	123
2009/10/9～11/13	企画・派遣	いちょう大学「大阪の歴史と考古学」（全５回）	大阪市総合学習センター	5	225
2010/1/29～3/12	企画・派遣	平野区画整理記念会館「住民大学講座」（全７回）	平野区画整理記念会館	1	80
2009/5/13～2010/3/10	企画・派遣	大阪市立住吉人権文化センター「“大阪を学ぼう”おおさか考古学百景」	住吉人権文化センター	10	500
2010/2/21		協会設立30周年記念講演会「都市大阪の成り立ちを語る－遺跡・発掘・文化財－」	大阪歴史博物館	4	260
2009 年度	派遣	その他講演会・研修等講師派遣等48 件		52	

「企画・派遣」・「派遣」以外の事業は主催ないし共催事業である。

Ⅵ．国際交流事業

１．韓国・財団法人嶺南文化財研究院との国際交流事業

1999年12月16日、大阪市文化財協会は韓国・(財)嶺南文化財研究院と国際交流に関する協定を締結し、以後さまざまな方法で交流関係を築いてきた。ここではその概要について記す。

＜交流協定締結までの経過＞

・1996年７月：嶺南文化財研究院李白圭院長と大阪市文化財協会永島暉臣愼調査部長は、大邱で開催された第２回韓日合同考古学大会の期間中に、両機関が友好的な交流関係を結ぶことについて合意した。

・1998年12月：嶺南文化財研究院の庁舎竣工式において、祝賀使節団として参加した永島暉臣愼調査部長は、祝辞を通じて両機関の姉妹関係の締結推進を公表するとともに、李白圭院長を大阪市文化財協会創立20周年記念式及び講演会に招待することを明らかにした。

・1999年10月：李白圭院長は大阪市文化財協会創立20周年記念講演会に祝賀使節及び講演者として参加し、交流に関する覚書と協定書など詳細事項について大阪市文化財協会側と協議した。

・1999年11月：李白圭院長の日本訪問の際、大阪市文化財協会白木秀治常務理事と姉妹提携協定式の日程調整を行い、1999年12月16日、嶺南文化財研究院と大阪市文化財協会は大邱において交流に関する協定を締結した。

＜交流協定締結後における両機関間の交流事業＞

(１)人的交流

職員の派遣研修が隔年で行われ、これまで嶺南文化財研究院から12名、大阪市文化財協会から３名が相手機関での研修に参加した。また両機関の関係発展のため、機関代表者の相互訪問も行われた。

(２)シンポジウムなどの開催協力

2002年度に韓国大邱・密陽で行われた「大阪市学芸員など共同研究韓半島総合学術調査団」主催の韓日合同シンポジウム及び現地検討会(テーマ：韓日初期農耕の比較研究)を共同で後援し、有益な成果を得た。また、2009年度に大阪市文化財協会・嶺南文化財研究院交流10周年記念シンポジウムを国立大邱博物館で共同開催し、200名を超える参加者を得て、双方の職員による研究発表と活発な議論を行った。

嶺南文化財研究院との
交流10周年記念シンポジウム
(2009年12月19日)

(３)資料の交換

両機関から発行された学術図書などの資料を相互に交換し、学術情報の充実に努めた。

２．世界考古学会議中間会議大阪大会の開催

2006年１月12日から15日にかけ、大阪歴史博物館を会場として世界考古学会議中間会議大阪大会(World Archaeological Congress Inter Congress: Osaka 2006)が開催された。同会議が東アジアで開催されたのは初めてであり、考古学に係るこうした国際会議が日本で開催されたことも初となった。世界考古学会議とは1987年に発足した国際的なNGO組織で、世界各地を会場として行われる４年に一

度の本大会とその間の中間会議がその活動の大きな柱となっている。その中間会議の日本での開催が当協会の岡村勝行に打診され、大阪での開催を企画することとなったものである。

世界考古学会議中間会議大阪大会
（2006年１月12~15日）

その準備は2004 年より開始された。大阪府立弥生文化博物館館長の金関恕氏を実行委員長とする実行委員会、そして当協会を事務局、岡村を事務局長とする体制を整え準備が本格化した。2005年に入り、テーマを「共生の考古学－過去との対話、遺産の継承」と確定し、ホームページの開設やファーストサーキュラーの配布などで周知と発表や参加の募集を開始した。事務局では当協会の職員はもとより、教育委員会や財団法人などに所属する関西を中心とする埋蔵文化財関係者、ならびに大学関係者、大学院生などの多数の参加が得られ、準備が進められた。

会議は12日の大阪歴史博物館講堂でのオープニングセレモニーに引き続き、スタンフォード大学のイアン・ホダー氏による記念講演で幕をあけた。講堂を含む３会場において、「過去との対話」「差異と共生」「遺産の継承」の３つのテーマにまつわる170件を超える口頭発表や30件あまりのポスターセッションが行われた。15日には博物館講堂にて閉会式、同日午後には中之島中央公会堂での記念のシンポジウムを開催し会議の幕を閉じた。参加は世界26ヶ国から約400人をこえ、日本および海外の多数の研究者の交流の場となった。

Ⅶ. 研究活動

１．大学・その他機関等からの講師・委員等の応嘱

当協会は各種文化財の調査研究を行うため、考古学以外に地質学・保存科学・文献史学・建築史学の専門知識を持った学芸員を配しており、大学やその他各機関から講師や専門委員のなどの委嘱があった場合、これに応じている。また、特に近年、国内外の埋蔵文化財調査機関から発掘調査や保存処理に関する指導を求められる例が増加している。講師の応嘱および調査指導の状況については表８を参照されたい。

表８　過去10年間の応嘱数（受嘱承認分のみ）

内　容	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
大学非常勤講師	5	3	2	4	5	5	7	5	7	7
調査指導･委員・研修講師	1	0	3	2	5	9	6	7	4	3
海外調査指導・研修講師	0	0	0	0	2	0	0	1	0	4
客員研究員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

２．競争的研究資金の獲得

2001年に当協会は文部科学省による科学研究費補助金交付を申請できる研究機関として認可された。文化財研究部と大阪歴史博物館の学芸員が対象となる。翌2002年から2009年度までに承認された研究は、継続中の者も含めて、右記のとおり合計37件で、獲得した研究費は合計１億1,754万円である。

区　分	件数
基盤A	1
基盤B	2
基盤C	13
萌芽	1
若手A	1
若手B	19
合　計	37